

## 内製「議会答弁検討システム」で事務負担・業務時間・紙を大幅削減（福島県福島市）



人口 273,348人  
(R4.1.1現在)

担当 総務課、デジタル改革室

福島市

### 取組概要

WordやExcelを使い、「紙」や「データ」を送付して行っていた議会質問・答弁作成の一連の作業(市議会の質問取り、答弁作成、内容検討)を、Accessを用いた内製データベースシステムで一元的に集約し、部局を超えて連携処理。

システムにデータを集約することで「全庁情報共有」、「作業時間削減」等の業務効率化とペーパーレス化を実現した。

### 取組の効果

#### (1)事務負担と業務時間の削減

- ①「集約」、「印刷」、「丁合」、「差し替え」といった答弁取りまとめ課のバックヤード業務が一切無くなった。
- ②各課職員が紙の受け渡しに答弁取りまとめ課に足を運んだり、データを受け渡す作業がなくなった。
- ③市長との答弁検討会1回開催あたり10時間から5時間に50%時間が削減された。

#### (2)ペーパーレス化

- ①市長との答弁検討会で年間約11,000枚削減
- ②答弁書で年間約44,000枚削減（年間合計55,000枚）



システムに答弁を入力する職員

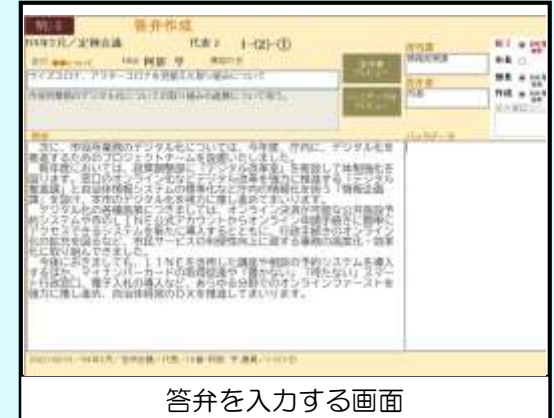
### 創意・工夫した点

庁内業務サーバーに全職員がアクセスできる領域を設置。

その領域にデータを置いてリアルタイムに共有することで、「紙を運ぶ」、「データを送る」といった情報の受け渡しを無くした。

### 他団体へのアドバイス

業務サーバーに誰もがアクセスできる領域があれば、部局を超えたデータ共有、連携が期待されます。また、データベースを開発できる職員(サンデープログラマー)が組織のなかに隠れています。サーバー環境整備と人材の発掘、育成で内製システムの開発がきっと可能です。



答弁を入力する画面